



あいことば 上宇部 2025

～ 「あい」「ことば」を大切にする地域とともにある学校 ～

04.17 NO-03

朝の登校の様子は…… その2

< 気持ちのよいあいさつ >

小学校では、1年生から6年生という、発達段階のまったく異なる子どもたちが通うところのため、「あいさつ」の在り様も、それぞれで、少し違います。朝のあいさつの様子も、さまざまですが、前号の「あいことば上宇部 NO-02」でお伝えしたとおり、地域の方は、そんな子どもたちから元気をもらっている……と言ってくださいます。

上宇部小のチャレンジ目標のひとつに、「あい手に伝えるあいさつを!!」があります。大きな声をだせる子もいれば、まだ恥ずかしくてなかなか声を出せない子もいます。「あいさつ」は、強いるものではなく、自発的に行うものなので、伝え方はさまざまでいいと思います。大切なのは、「あい手に伝えたいな～」と思えることです。

こんなあいさつの伝え方をする2名の子どもがいました!!

6年生の2名の児童が、早く学校に登校し、昇降口が開くのを、昇降口前で座ってまっています。その後ろを、交通安全の見守りのために、大人が通る際に、2名の児童(右写真)に「おはようございます」とあいさつをしました。すると、2名の児童は、振り返り、そこで立ち上がって、「おはようございます。」と気持ちのよいあいさつを返しました。「なんで立ち上がってあいさつしたの?」ときくと、スポ少で、そのようなあいさつの仕方を教えてもらっている……とのこと。この子どもたちが素敵なのは、スポ少の時だけではなく、日頃の生活の中でそれを実践しているところです。まさに、地域での学びが学校生活にも生かされています。学校教育と社会教育がしっかり重なり合い、地域全体が子どもを健やかに育てていると言えます。



子どもたちは、学校、家庭、地域等で関わりのある、ありとあらゆる大人(場合によっては、こども……)から、日々学び、着実に「生きる力」を育てています。

< 追加情報 > ～朝のあいさつは、教職員も負けていません!!～

朝の職員室では、とても活気のある、清々しいあいさつが飛び交っています。だれかが職員室に入ると、「おはようございます!!」という声とともに、それに対して多くの職員が「おはようございます!!」と返します。それぞれが一人の大人、社会人として、「あい手」のことを思い、あいさつを行っている感じがします。